

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：東京都弓道連盟]

[記載日：令和7年4月16日]改訂

【対応状況に係る自己評価】→「対応状況」の欄に記入

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。	-
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 団体としての権利義務関係を明確化するため、規約を定め次のとおりそれを遵守している。 ・多数決の原理で物事を決定している。 ・団体の構成員の変更があったとしても団体が存続し、代表の決定方法や財産の管理等の団体としての主要な事項を確定させることができる。 ・個人の私的口座で財産の管理・運営を行うのではなく、団体活動のための専用の口座を用い、財産を分別して管理・運営している。	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・大会やイベント、講習会等を行う際には、当該施設の使用に係る規則や、当該施設を所管する地方公共団体が定める安全管理に関する条例等を遵守している。 ・個人情報保護法を遵守し、個人情報の取り扱いについては十分留意して管理している。	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・会長1名、副会長2名、理事長1名、副理事長3名、理事20名で定期的に理事会を開催している。 ・役員が団体の構成員に対して、定期的に決算や事業報告等を行っている。しかしながら、会報等を発行し、定期的に団体の運営状況を団体の構成員に報告していないことから、ホームページへの掲載等周知方法について、検討していきたい。	

原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	B
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・現時点で団体の構成員を参画させ、策定作業の準備中であり、ホームページ掲載により公表することも検討中である。	
原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・年に1回、役員等を対象に、暴力行為やセクハラ、パワハラ行為等防止のためのコンプライアンス研修を実施している。	
(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	B
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・現時点ではコンプライアンス教育の実施ができていない。今後、役員内で協議し令和6年度に各種研修等を通じて実施を目指して計画していきたい。	
原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・団体の会計処理が適切に行われるよう、団体の規約（内規）に必要な事項を定め、そのとおり処理している。	
(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・(公財)東京都体育協会の分担金を受けており、当該分担金に関する実施要項や事務の手引き等に従い、適正に会計処理を行っている。	
(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・団体の規約に基づき、監事による監査を行うとともに、定時総会において前年度の会計に関する計算書類の承認を受けている。	

原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・現時点では団体のホームページに組織概要(規約・倫理規定・組織図)を公表していないため、令和 7 年度までには情報開示を行いたい。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・団体のホームページにおいて、組織運営に係る情報で組織概要（規約・倫理規定・組織図）は公表していないが、 令和 6 年 2 月 7 日にスポーツ団体ガバナンスコードの遵守状況(セルフチェックシートの記入内容)をホームページで公開済みである。	
原則 6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<NF 向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。	
自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF 向け>の規定があるか（ある場合は下欄に記述）	
原則 4 について コンプライアンス委員会を設置すべきである。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・ 当連盟の法人化も踏まえ、倫理委員会も含めコンプライアンス委員会を立ち上げ、会員へのコンプライアンスの意識の徹底を図る。 令和 7 年度内に倫理委員及び理事を対象とし、専門家を迎えガバナンス及びコンプライアンスに関する研修会を実施したい。	
原則 8 について 利益相反を適切に管理すべきである。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・中央団体の競技会規則、倫理規定により対応している。	
原則 9 について 通報制度を構築すべきである。	B
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・通報制度は構築しておらず、ホームページからの問い合わせ窓口のみ設置している。今後設置を検討していきたい。	

原則 1 3 について 地方組織等に対するガバナンスの確保、コンプライアンスの強化等に係る指導、助言及び支援を行うべきである。	C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・ 今後、支援策をさらに整備していく必要がある。 ・ (公財)東京都体育協会が主催する「都民体育大会」「都民生涯スポーツ大会」を主管となって競技運営を行っている。大会運営だけでなく、地区体育協会との関係性を深め、連携しつつコンプライアンスの強化を図っていきたい。	